



「厳しい寒さが味方」

2012. 3/11 (日)

活動目標：体験を通して学ぶ

- 今日は 中田町の「海老根和紙工房」で、「海老根伝統手漉和紙」作りの体験を行いました。



初めての活動内容ということもあり、スカウト13名、保護者10名リーダー3名と大人数の参加でした。

初めに、和紙の歴史・製法について工房の熊田英重さんによって説明を

いただいた後に、スカウト全員と保護者2名が実際に紙すき体験を行いました。



(トロロアオイ)



冬の初めに、原料となるコウソの枝を刈り取り大きな釜で蒸し、それを水に浸して表皮をとり乾燥させ、汚れをとった後、たたいて繊維を短くします。

舟と呼ばれる水槽に、水とコウソ、そしてトロロアオイという植物の根を乾燥させて粉末状にした「ネリ」をつなぎの役目として一緒に入れてかき混ぜます。それを簀桁（すけた）ですくって動かし、すきあげるそうです。

～ 紙すき体験のようす ～

初めに工房の方々から、実演を交えて説明いただきました。



実際の体験のようす



<スカウト達の作品!!>
これから2日間ほどかけて乾燥させるそうです。
3月の活動の時に渡せる予定です。

海老根手漉和紙の紙すきは、江戸時代から始まったとされています。
短い時間ではありましたが、今回の体験を通して、伝統を守る大切さや和紙の魅力を感じることができたのではないのでしょうか。

隊長より今日の活動について



今回の企画は保護者の方からのリクエストをもとに計画しました。
海老根和紙保存会の方々の親切な説明や優しい対応に、最初「おっかなびっくり」だったスカウト達も、3回すいたなかで2回目にはもう一端の「職人」気取りで紙すきをしていました。和紙ができたら「うちわ」と「はがき」に加工したいと思います。今年の夏は涼しく乗り切れそうだなあ！